

平成25年11月25日 公表

徳島県南海トラフ巨大地震被害想定(第二次)の概要

目的

- ① 南海トラフ巨大地震が発生したときのライフライン・交通施設・生活支障等の被害を明らかにすることにより、被害軽減に向けた予防対策はもとより、早期の復旧・復興に向けた行政・事業者等が行うべき具体的な対策を検討するための基礎資料とする。
- ② あわせて、発災後の被害の様相を幅広く示し、被災後の生活を具体的にイメージすることによって、日頃からの備えの必要性について、県民の理解を深めることを目的とする。

想定性格

本想定は、南海トラフ巨大地震で発生する被害を東日本大震災や阪神淡路大震災等における被災状況や復旧推移をもとに想定したものです。

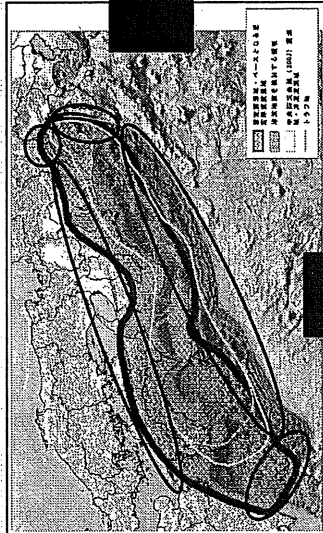
南海トラフ巨大地震が発生した場合、本県では河川や急峻な地形が多く、また沿岸部に主要な幹線道路が位置していることから、ライフライン等の復旧に必要な道路の啓開作業等において、想定以上の支障が生じる可能性があります。さらに東日本大震災を上回る広域的な被害が発生することによる他地域からの応援不足なども懸念されます。

これらのことから、今後、この想定結果を参考に各分野・各関係機関において、より詳細な被災状況を想定しておく必要もあります。本想定は、県民・事業者・行政等が南海トラフ巨大地震が発生したときの被災状況の一つの目安を認識・共有し、各主体ができることから連携して備えを進めるための基礎資料となるものです。

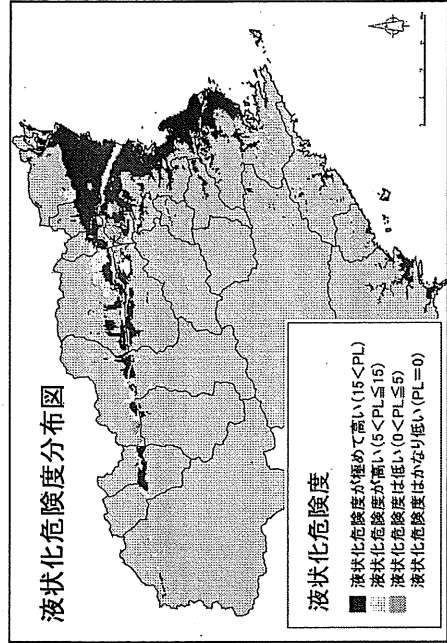
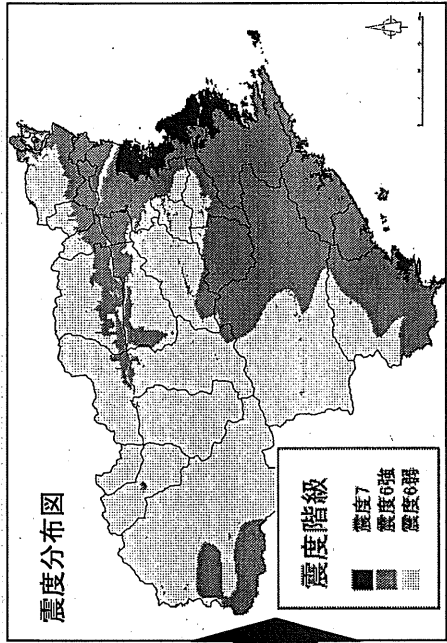
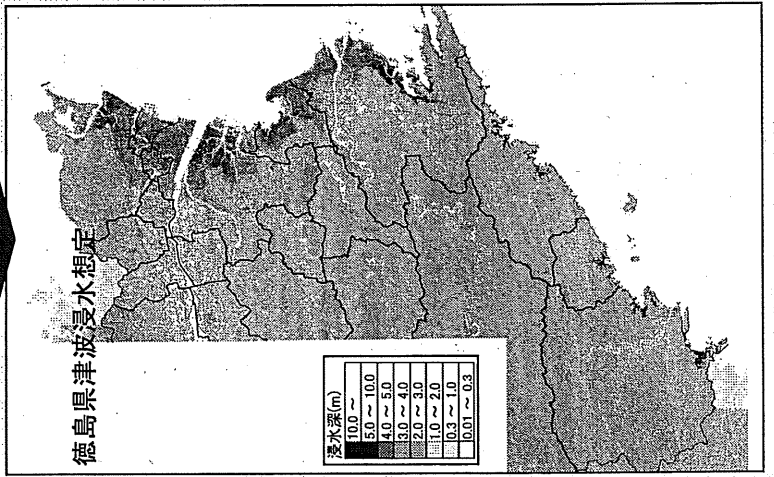
想定結果

想定地震

南海トラフの巨大地震(M=9.0)を対象



徳島県津波浸水想定



主な想定結果(定量被害)

○ライフライン被害

上水道	直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
下水道	直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
電力	直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
通信<固定電話>	直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
ガス<都市ガス>	直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
上水道	92%	73%	56%	22%
下水道	79%	79%	26%	1%
電力	98%	72%	47%	38%
通信<固定電話>	98%	75%	34%	14%
ガス	100%	100%	63%	0%

○交通施設被害

- 道路：被害箇所数 1,600箇所
- 鉄道：被害箇所数 550箇所
- 港湾：被害バース数 220箇所
- 防波堤被災延長 6,000m

○生活支障等(最大)

- 避難者：362,600人
- 入院需要：9,300人
- 廃棄物：1,600~2,200万ト
- 仮設住宅：70,200戸
- 孤立集落：140集落

○経済被害

- 直接経済被害：6兆4,000億円

主な想定結果(定量被害)一覽表

1. ライフライン被害の結果

(1) 上水道

給水人口(人)	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後		津波全壊人口(人)
	断水率(%)	断水人口(人)	断水率(%)	断水人口(人)	断水率(%)	断水人口(人)	断水率(%)	断水人口(人)	
749,300	92	689,000	73	547,700	56	417,800	22	165,500	115,400

(2) 下水道

処理人口(人)	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後		津波全壊人口(人)
	支障率(%)	支障人口(人)	支障率(%)	支障人口(人)	支障率(%)	支障人口(人)	支障率(%)	支障人口(人)	
128,000	79	101,500	79	101,500	26	33,500	1	1,300	20,300

(3) 電力

電灯軒数(軒)	直後		1日後		4日後		1週間後		津波全壊電灯軒数(軒)
	停電率(%)	停電軒数(軒)	停電率(%)	停電軒数(軒)	停電率(%)	停電軒数(軒)	停電率(%)	停電軒数(軒)	
415,300	98	408,900	72	300,400	47	197,000	38	159,300	63,400

(4) 通信(固定電話)

回線数(回線)	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後		津波全壊回線数(回線)
	不通率(%)	不通回線数(回線)	不通率(%)	不通回線数(回線)	不通率(%)	不通回線数(回線)	不通率(%)	不通回線数(回線)	
215,800	98	212,500	75	162,000	34	73,300	14	31,200	31,200

(5) ガス(都市ガス) <冬18時>

復旧対象需要家数(戸)	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後	
	供給停止率(%)	供給停止戸数(戸)	供給停止率(%)	供給停止戸数(戸)	供給停止率(%)	供給停止戸数(戸)	供給停止率(%)	供給停止戸数(戸)
5,400	100	5,400	100	5,400	63	3,400	0	0

2. 交通施設被害の結果

(1) 道路施設

延長(km)	津波浸水域		津波浸水域外		被害箇所数(箇所)
	被害箇所数(箇所)	延長(km)	被害箇所数(箇所)	延長(km)	
3,250	690	11,760	940	15,020	1,600

(2) 鉄道施設

延長(km)	津波浸水域		津波浸水域外		被害箇所数(箇所)
	被害箇所数(箇所)	延長(km)	被害箇所数(箇所)	延長(km)	
57	110	172	430	229	550

(3) 港湾

① 岸壁・その他係留施設

総ハース数(ハース)	耐震ハース数(ハース)	岸壁		その他係留施設	
		被害ハース数(ハース)	総ハース数(ハース)	耐震ハース数(ハース)	被害ハース数(ハース)
76	3	60	207	1	160

② 防波堤

防波堤延長(m)	13,280
防波堤被災延長(m)	6,000

3. 生活支障等の結果

(1) 避難者 <冬18時>

夜間人口(人)	警報解除後当日		1週間後		1ヶ月後	
	避難所(人)	避難所外(人)	避難所(人)	避難所外(人)	避難所(人)	避難所外(人)
785,491	202,200	108,400	310,600	362,600	102,500	239,200
	合計(人)	合計(人)	合計(人)	合計(人)	合計(人)	合計(人)
	785,491	310,600	362,600	102,500	239,200	341,700

(2) 医療機能 <冬18時>

重傷者数	入院需要(人)		合計
	死者の1割	要転院患者数	
4,700	2,500	2,100	9,300

(3) 災害廃棄物等 <冬18時>

災害廃棄物	重畳換算(万ト)		体積換算(万m3)	
	津波堆積物	計	災害廃棄物	計
1,000	550~1,200	1,600~2,200	1,700	500~810
			2,200	2,500

(4) 仮設住宅 <冬18時>

全戸数(戸)	必要応急仮設住宅戸数(戸)
302,100	70,200


(5) 孤立集落

孤立可能性のある集落数	孤立集落数(集落)	
	農村	漁村
465	117	23
		合計
		140

4. 直接経済被害の結果

被害額(億円)	64,000
---------	--------

被害軽減に向けた予防対策 早期復旧に向けた応急対策



- ◇木造住宅等の耐震化促進
- ◇地盤改良、杭補強等の液状化対策
- ◇土砂災害対策
- ◇海岸堤防等のなげばり強い沿岸構造物の整備
- ◇津波リスクを考慮した適正な土地利用
- ◇仮設住宅の建設適地の選定、事前復興計画の策定促進

建物の耐震化 100%

即避難率 100%

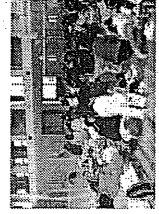
500m以内の津波避難場所の整備

死者数 93%減少


死者ゼロの実現！

- ・家具類の転倒防止対策
- ・防災教育・訓練の充実
- ・自主防災組織の活性化
- ・情報伝達の充実


更なる対策の充実



- ◇避難所の確保
- ◇避難所運営体制の構築
- ◇生活物資等の備蓄促進
- ◇広域的な連携による避難体制の構築



- ◇医療機関の耐震化及び耐浪化
- ◇医薬品の備蓄促進
- ◇災害時要援護者対策の推進
- ◇DMAT等の受入体制の確保



- ◇建物等の耐震化促進
- ◇仮置き場の適地選定
- ◇県及び市町村における災害廃棄物処理計画の策定・推進



- ◇長期的な備蓄の推奨
- ◇集落への衛星携帯電話の配備
- ◇ヘリポートの整備促進

南海トラフ巨大地震時の「主な被害様相」(1)			
分野	地震直後～津波警報解除後	1日後～数日後	1ヶ月後
建物被害	<ul style="list-style-type: none"> ○県内全域が震度6弱以上の揺れに見舞われ、多くの建物が全壊 ○沿岸部では、津波により多くの建物が流失 ○木造密集地では地震火災により、建物が焼失 ＜全壊棟数116,400棟(冬18時): 揺れ60,900棟、液状化540棟、急傾斜地360棟、津波42,300棟、火災12,300棟＞ 	<ul style="list-style-type: none"> ○被災建物の危険度判定が開始 	<ul style="list-style-type: none"> ○応急仮設住宅の建設に着手
人的被害	<ul style="list-style-type: none"> ○耐震性の低い木造建物を中心に、建物の倒壊により死者が発生 ○津波が高く、到達時間が短い地域を中心に、津波に巻き込まれて、多くの死者が発生 ○出火家屋からの逃げ遅れ等で、死者が発生 ＜死者数31,300人(冬深夜): 揺れ3,900人、急傾斜地30人、津波26,900人、火災470人＞ 	<ul style="list-style-type: none"> ○救助件数が膨大な数に上り、救助活動が間に合わず、時間とともに生存者が減少 ○倒壊した建物から救出された人でも、状況により死亡する人が発生 	<ul style="list-style-type: none"> ○津波による行方不明者が膨大な数に上り、長期にわたる捜索活動が必要に
避難者	<ul style="list-style-type: none"> ○地震発生直後、多くの人が津波から一時避難 ＜津波一時避難者(冬深夜):約36万人＞ ○津波警報解除後、建物被害により、多くの人が避難所へ避難し、また、比較的近くの親族・知人宅等へも避難する ＜避難者:約20.2万人(避難所)、約10.8万人(避難所外)＞ 	<ul style="list-style-type: none"> ○建物被害による避難者に加え、ライフライン被害による生活の困難に伴い、避難者が増加 ＜避難者:約22.7万人(避難所)、約13.6万人(避難所外)＞ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ライフラインの一部復旧により、一部の人が避難所から自宅へ帰宅 ○交通機関の一部復旧に伴い、遠方の親族・知人等を頼った帰省・帰郷行動が始まる ＜避難者:約10.3万人(避難所)、約23.9万人(避難所外)＞
医療機能	<ul style="list-style-type: none"> ○被災地内の医療機関において、建物被害やライフライン機能支障等により対応力が低下 ○重傷者や軽傷者等の膨大な数の医療需要が発生 ○在院患者について、医療機関の被災、ライフライン機能低下により要転院者が多数発生 ＜入院需要:9,300人＞ 	<ul style="list-style-type: none"> ○非常用発電機を有する医療機関では、燃料不足等により機能が一部停止 ○医薬品不足が相当数の医療機関で発生 ○日常的に受診していた患者の相当数が医療機関の被災により受診を継続できなくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ライブラインの一部復旧により、一部の人が避難所から自宅へ帰宅 ○交通機関の一部復旧に伴い、遠方の親族・知人等を頼った帰省・帰郷行動が始まる ＜避難者:約10.3万人(避難所)、約23.9万人(避難所外)＞
災害廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ○家屋等の倒壊に伴い、大量の廃棄物が発生 ○自動車、船舶、コンテナ、流木、漁業施設等の廃棄物も発生 ＜災害廃棄物:約1,000万トン＞ ○津波による土砂堆積物(津波堆積物)も大量に発生 ＜津波堆積物:約550～1,200万トン＞ 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害廃棄物等の仮置場のための用地確保が必要に ○仮置場等への道路の渋滞等で搬送作業が遅延 ○海に流出した廃棄物が、船舶の航行や漁業の障害に 	<ul style="list-style-type: none"> ○処理のための分別作業が長期化 ○中間処理施設、最終処分場の用地確保が必要に ○廃棄物処理するため、被災地内だけでなく、広域的な処理が必要に
孤立集落	<ul style="list-style-type: none"> ○道路等の断絶により、集落の孤立が発生し、初期期の救助・救援活動が遅れる ＜孤立集落:約120集落(農村)、約20集落(漁村)＞ 	<ul style="list-style-type: none"> ○通信手段が断絶し、情報伝達が困難に ○孤立集落における物資の不足が深刻化 ○集落ごと避難する必要がある発生し、ヘリコプターや船舶等の避難手段の確保、避難先の確保が必要に 	<ul style="list-style-type: none"> ○孤立を解消するための道路、ライフラインの復旧のほか、斜面崩壊防止のための工事が必要に ○道路の通行止めは、全開通まで長期間が必要に

生活支援等

南海トラフ巨大地震時の「主な被害様相」(2)

分野	地震直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
上水道	○管路、浄水場の被災や運転停止により、強震域・津波浸水域を中心に断水が発生 ＜断水率:約9割＞	○津波警報等の継続により、管路被害等の復旧は限定的 ＜断水率:約7割＞	○管路の復旧が進み、断水の解消が進捗 ＜断水率:約6割＞	○管路の復旧は概ね完了 ＜断水率:約2割＞ ※津波全域による断水人口を含む
下水道	○管路、処理場の被災や運転停止により、強震域・津波浸水域を中心に処理が困難 ＜支障率:約8割＞	○津波警報等の継続により、管路被害等の復旧は限定的 ＜支障率:約8割＞	○管路の復旧が進み、利用支障の解消が進捗、津波で大きく被災した処理場の復旧は遅延 ＜支障率:約4割＞	○管路の復旧は概ね完了、津波で被災した処理場の復旧は遅延 ＜支障率:ほぼ解消＞ ※津波全域による支障人口を除く
電力	○震度6弱以上の揺れや津波により電柱・送電施設の被害等が発生し、広域的に停電 ＜停電率:ほぼ全て＞	○発電所の支障による停電は、供給ネットワークの切替等で順次解消 ○津波警報等の継続で、電柱等の復旧は限定的 ＜停電率:約7割＞	○電柱等の復旧が進捗 ＜停電率:約4割＞	○復旧対象エリアの停電はほとんど解消されるが、電力需要の回復は供給能力を上回るエリアでは需要抑制を実施
通信	○固定電話は、ほぼ利用できない ＜固定電話不通率:ほぼ全て＞ ○携帯電話は、メールの送受信が発生、音声通信は繋がりにくい ○携帯電話基地局は、非常用電源の燃料枯渇により機能停止が拡大	○津波警報等の継続で、電柱等の復旧は限定的 ＜固定電話不通率:約8割＞ ○携帯電話は、非常用電源の燃料補充が限定的で、停電基地局が拡大	○固定電話は、電柱等の復旧により通話支障の多くが解消 ＜固定電話不通率:約3割＞ ○計画停電区域では、交換機・基地局の停電に伴い通話支障が発生	○電柱等の復旧により通話支障の多くが解消
ガス	○都市ガスは、揺れと道路・建物の被害状況等に応じ、供給を全て停止 ○LPGガスは、ガスボンベの安全装置等により自動的に一旦供給が停止	○都市ガスは、津波警報等の継続で、復旧や安全点検は限定的 ○LPGガスは、津波警報等の継続で、各戸の安全点検は限定的	○都市ガスは、全国からの応援により復旧が加速、順次供給を実施した建物から供給を再開	○都市ガスは、復旧対象の大部分で供給が再開 ○LPGガスは、ほぼすべての復旧対象で供給が再開
道路	○高速道路は、被災と点検のため通行止め ○道路施設は、多くの箇所では被災 ○山間部では、亀裂や陥没、法面崩壊等により、多くの箇所では通行不能 ○津波で浸水した道路は通行困難で県南部へのアクセスは限定的 ＜県全体:約1箇所/10kmの被害＞	○高速道路は、復旧等により車線をほぼ確保し、緊急車両のみ通行可能 ○主要な道路は、津波浸水域外で復旧と再開を本格的に開始 ○沿岸部は津波警報等の解除まで、また津波で流失した橋梁も通行不能 ○内陸部でも迂回路で渋滞が発生し、物流が著しく制限 ○停電で、広域的に交通管制に支障	○高速道路は、交通規制により緊急通行車のみ通行可能 ○浸水域に進入する緊急輸送道路は、仮復旧ルートが概成 ○津波で流失した橋梁の一部は、仮橋により緊急車両のみ通行可能 ○停電の解消により、被害が軽微な地域の交通管制はほぼ回復	○高速道路は、一般車を含めて通行可能 ○主要な道路は、橋梁の被害を除き2週間程度で概ね再開、一部区間では交通規制 【3ヶ月後】 ○津波で流失した橋梁等の一部で通行不能が3か月以上継続
鉄道	○軌道の変状、橋梁等の被害等により、全線が不通 ○山間部に帰宅困難者が発生 ○貨物輸送による物流が途絶 ＜県全体:約2箇所/kmの被害＞	○不通となった在来線は、応急復旧作業が開始されるも、依然不通 ○沿岸部は、津波警報等の解除まで復旧作業が不可	○応急復旧作業中であり依然不通 ○道路の復旧、バスの調達を待つバスによる代替輸送が開始	○津波被害のない一部区間で、折り返し運転が開始 ○揺れて被災した路線の約半数が復旧
港湾	○震度6強以上の地域では、耐震強化岸壁は機能を維持するが、非耐震岸壁の多くが機能を停止 ＜被害バース数:約200箇所＞ ○港内の漂流物や港湾施設の破損等により港湾機能が停止	○被害が軽微な港湾を含め、津波警報等が解除まで、復旧作業・緊急輸送が滞る	○船舶の入港可能な港湾から順次、緊急輸送を実施 ○被災した港湾では、約半数の港湾が災害対応の復旧ルートでの再開 ○道路施設の仮復旧ルートでの再開 ○海からの緊急輸送が本格化	○船舶の入港が可能となった港湾から順次、緊急輸送を実施 ※地震・津波被害を受けた港湾の本格復旧には2年以上必要
空港	○徳島空港は、点検等のため閉鎖 ○津波により一部滑走路が浸水	○津波警報等の解除までは、復旧作業や緊急輸送が滞る	○直轄国道等の仮復旧ルートの再開で、空からの緊急輸送が本格化	○滑走路のがれきり除去完了、民間機の暫定運用開始【2週間後】

被害軽減に向けた予防対策
早期復旧に向けた応急対策

<ul style="list-style-type: none"> ◇長期的な備蓄の推奨 ◇管路の耐震化、浄水場の耐震化・耐浪化 ◇業務継続計画の策定 ◇広域応援体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ◇管路の耐震化、処理場の耐震化・耐浪化 ◇業務継続計画の策定 ◇広域応援体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ◇避難所等における太陽光発電設備・自家発電機の整備促進 ◇発電設備の耐震化・耐浪化 ◇業務継続計画の策定、広域応援体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ◇避難所等における衛星携帯電話の配備 ◇携帯電話基地局の非常用電源強化 ◇業務継続計画の策定、広域応援体制の構築 ◇真の防災行政無線の強化など確実な情報伝達手段の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ◇管路の耐震化、供給設備の耐震化・耐浪化 ◇業務継続計画の策定、広域応援体制の構築 ◇燃料の調達体制の構築
<ul style="list-style-type: none"> ◇道路施設の老朽化対策、耐震対策の推進 ◇代替性確保のための道路ネットワーク整備の推進 ◇道路啓開対策の検討 ◇早期応急・復旧体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ◇鉄道施設の耐震対策の推進 ◇早期応急・復旧体制の構築 ◇事業継続計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ◇港湾施設の老朽化対策、耐震対策の推進 ◇津波に対してねばり強い防波堤の整備 ◇航路啓開対策の検討 ◇早期応急・復旧体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ◇早期応急・復旧体制の構築 ◇事業継続計画の策定 	

徳島県南海トラフ巨大地震被害想定 (第二次)

－ ① 結果一覧表 －

目次

1. ライフライン被害の結果	1
(1) 上水道	1
(2) 下水道	1
(3) 電力	2
(4) 通信	3
(5) ガス	4
2. 交通施設被害の結果	5
(1) 道路施設	5
(2) 鉄道施設	5
(3) 港湾施設	5
3. 生活支障等の結果	6
(1) 避難者	6
(2) 帰宅困難者	7
(3) 医療機能	8
(4) 災害廃棄物等	9
(5) 住機能	10
(6) エレベータ閉じこめ	11
(7) 災害時要援護者	12
(8) 文化財	12
(9) 孤立集落	13
4. 経済被害の結果	13

1. ライフライン被害の結果

(1) 上水道

市町村名	給水人口 (人)	復旧対象 給水人口 (人)	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後		津波全壊 人口(人)
			断水率(%)	断水人口	断水率(%)	断水人口	断水率(%)	断水人口	断水率(%)	断水人口	
徳島市	253,400	204,700	91	229,600	68	173,100	51	128,500	23	58,900	48,600
鳴門市	61,000	38,700	85	52,000	66	40,000	54	32,800	39	23,900	22,300
小松島市	39,900	25,500	98	39,000	87	34,800	74	29,700	43	17,200	14,400
阿南市	75,400	64,600	98	73,700	86	64,500	69	52,300	25	18,600	10,800
吉野川市	43,200	43,200	97	41,900	82	35,400	62	26,800	12	5,100	0
阿波市	38,500	38,500	94	36,300	73	28,200	52	19,900	9	3,500	0
美馬市	30,600	30,600	92	28,300	69	21,000	47	14,200	7	2,100	0
三好市	24,200	24,200	68	16,400	38	9,100	22	5,200	3	680	0
勝浦町	4,600	4,600	97	4,500	82	3,800	63	2,900	12	550	0
上勝町	920	920	75	690	44	410	26	240	4	30	0
佐那河内村	2,300	2,300	82	1,900	52	1,200	32	740	4	100	0
石井町	24,500	24,500	98	23,900	84	20,700	65	16,000	13	3,300	0
神山町	4,100	4,100	54	2,200	29	1,200	15	630	0	0	0
那賀町	6,700	6,700	77	5,200	46	3,100	27	1,800	4	250	0
牟岐町	4,500	2,600	96	4,300	82	3,700	69	3,100	46	2,100	1,900
美波町	7,100	5,000	99	7,000	94	6,600	76	5,400	40	2,800	2,100
海陽町	9,700	7,200	99	9,600	93	9,000	78	7,500	37	3,600	2,500
松茂町	15,200	8,000	95	14,400	81	12,300	70	10,600	51	7,700	7,200
北島町	21,700	16,400	96	20,900	81	17,600	65	14,200	31	6,800	5,300
藍住町	33,400	33,100	96	32,100	79	26,300	59	19,700	11	3,800	310
板野町	14,100	14,100	98	13,700	85	11,900	65	9,200	14	1,900	0
上板町	12,100	12,100	97	11,800	81	9,900	61	7,400	11	1,400	0
つるぎ町	8,400	8,400	80	6,700	49	4,100	30	2,500	4	340	0
東みよし町	13,800	13,800	93	12,800	70	9,700	48	6,600	8	1,000	0
合計	749,300	633,900	92	689,000	73	547,700	56	417,800	22	165,500	115,400

1) 断水率=(管路・浄水場等被害による断水人口+津波全壊による断水人口)/全給水人口

2) 復旧対象給水人口は、津波浸水により建物全壊した需要家数に相当する人口を除く

3) 数値は、十の位または百の位で処理しており、合計や率が合わない場合がある

(2) 下水道

市町村名	処理人口	復旧対象 処理人口	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後		津波全壊 人口(人)
			支障率(%)	支障人口	支障率(%)	支障人口	支障率(%)	支障人口	支障率(%)	支障人口	
徳島市	78,000	63,100	100	78,000	100	78,000	29	22,900	0	0	15,000
鳴門市	4,200	2,700	100	4,200	100	4,200	43	1,800	0	0	1,500
小松島市											0
阿南市	1,900	1,600	100	1,900	100	1,900	26	490	0	0	270
吉野川市	20,700	20,700	10	2,100	10	2,100	10	2,100	0	0	0
阿波市											0
美馬市	2,700	2,700	11	280	11	280	11	280	0	0	0
三好市											0
勝浦町											0
上勝町											0
佐那河内村											0
石井町											0
神山町											0
那賀町											0
牟岐町											0
美波町	1,200	840	40	480	40	480	40	480	0	0	350
海陽町	2,700	2,000	100	2,700	100	2,700	76	2,100	47	1,300	700
松茂町	4,400	2,300	100	4,400	100	4,400	52	2,300	0	0	2,100
北島町	1,500	1,100	100	1,500	100	1,500	32	480	0	0	360
藍住町	2,700	2,700	100	2,700	100	2,700	11	300	0	0	30
板野町	3,100	3,100	100	3,100	100	3,100	10	320	0	0	0
上板町											0
つるぎ町	2,300	2,300	2	60	2	60	0	0	0	0	0
東みよし町	2,500	2,500	3	80	3	80	0	0	0	0	0
合計	128,000	107,700	79	101,500	79	101,500	26	33,500	1	1,300	20,300

1) 支障率(直後~1週間後)=(管路・処理場被害による支障人口+津波全壊による支障人口)/全処理人口

2) 支障率(1ヶ月後)=管路・処理場被害による支障人口/全処理人口

3) 復旧対象処理人口は、津波浸水により建物全壊した需要家に相当する人口を除く

4) 数値は、十の位または百の位で処理しており、合計や率が合わない場合がある

(3) 電力

市町村名	代表震度	電灯軒数	復旧対象 電灯軒数	直後		1日後		津波全壊相当 電灯軒数
				停電率(%)	停電軒数	停電率(%)	停電軒数	
徳島市	6.50	145,000	117,200	100	145,000	84	121,500	27,800
鳴門市	6.14	31,900	20,200	100	31,900	74	23,500	11,700
小松島市	6.64	20,600	13,200	100	20,600	91	18,600	7,400
阿南市	6.52	37,700	32,300	100	37,700	84	31,500	5,400
吉野川市	6.10	21,200	21,200	100	21,200	55	11,700	0
阿波市	6.07	18,200	18,200	100	18,200	53	9,700	0
美馬市	5.95	17,100	17,100	90	15,400	44	7,500	0
三好市	5.98	19,100	19,100	91	17,400	46	8,900	0
勝浦町	6.12	3,200	3,200	100	3,200	57	1,800	0
上勝町	6.20	1,500	1,500	100	1,500	63	960	0
佐那河内村	5.97	1,400	1,400	91	1,300	46	640	0
石井町	6.39	11,800	11,800	100	11,800	74	8,800	0
神山町	5.98	3,800	3,800	91	3,500	46	1,800	0
那賀町	6.16	6,900	6,900	100	6,900	60	4,100	0
牟岐町	6.31	3,200	1,800	100	3,200	82	2,600	1,300
美波町	6.38	5,300	3,800	100	5,300	82	4,300	1,600
海陽町	6.22	7,400	5,500	100	7,400	73	5,400	1,900
松茂町	6.26	7,600	4,000	100	7,600	82	6,300	3,600
北島町	6.28	10,400	7,800	100	10,400	76	7,900	2,500
藍住町	6.31	15,000	14,800	100	15,000	70	10,500	140
板野町	6.18	6,600	6,600	100	6,600	61	4,100	0
上板町	6.13	5,800	5,800	100	5,800	58	3,400	0
つるぎ町	5.83	6,700	6,700	85	5,700	36	2,400	0
東みよし町	5.78	7,900	7,900	82	6,500	33	2,600	0
合計		415,300	351,900	98	408,900	72	300,400	63,400

- 1) 停電率=(需給バランス等に起因した停電軒数+津波全壊による停電軒数)/全電灯軒数
2) 復旧対象電灯軒数は、津波浸水により建物全壊した需要家数に相当する電灯軒数を除く
3) 数値は、十の位または百の位で処理しており、合計や率が合わない場合がある

電灯軒数	直後		1日後		4日後		1週間後		津波全壊相当 電灯軒数
	停電率(%)	停電軒数	停電率(%)	停電軒数	停電率(%)	停電軒数	停電率(%)	停電軒数	
415,300	98	408,900	72	300,400	47	197,000	38	159,300	63,400

- 1) 停電率(直後・1日後)=(需給バランス等に起因した停電軒数+津波全壊による停電軒数)/全電灯軒数
2) 停電率(4日後・1週間後)=(電線等被害に基づく停電軒数+津波全壊による停電軒数)/全電灯軒数
3) 数値は、十の位または百の位で処理しており、率が合わない場合がある

(4) 通信

① 固定電話

市町村名	回線数	復旧対象回線数	直後		1日後		津波全壊相当回線数
			不通率(%)	不通回線数	不通率(%)	不通回線数	
徳島市	61,800	49,900	100	61,800	87	53,700	11,900
鳴門市	18,300	11,600	100	18,300	83	15,200	6,700
小松島市	11,900	7,600	100	11,900	94	11,200	4,300
阿南市	21,000	18,000	100	21,000	89	18,800	3,000
吉野川市	13,600	13,600	100	13,600	55	7,500	0
阿波市	12,600	12,600	100	12,600	53	6,700	0
美馬市	13,300	13,300	90	11,900	44	5,900	0
三好市	13,700	13,700	91	12,500	46	6,400	0
勝浦町	2,200	2,200	100	2,200	62	1,300	0
上勝町	790	790	100	790	100	790	0
佐那河内村	920	920	91	830	46	420	0
石井町	6,100	6,100	100	6,100	74	4,500	0
神山町	2,500	2,500	91	2,300	46	1,200	0
那賀町	4,700	4,700	100	4,700	72	3,400	0
牟岐町	2,000	1,200	100	2,000	100	2,000	840
美波町	2,800	2,000	100	2,800	100	2,800	840
海陽町	4,100	3,100	100	4,100	100	4,100	1,100
松茂町	3,100	1,600	100	3,100	91	2,800	1,500
北島町	4,600	3,500	100	4,600	82	3,800	1,100
藍住町	5,500	5,500	100	5,500	70	3,900	50
板野町	3,700	3,700	100	3,700	61	2,300	0
上板町	4,200	4,200	100	4,200	58	2,400	0
つるぎ町	870	870	85	740	43	380	0
東みよし町	1,400	1,400	82	1,200	33	470	0
合計	215,800	184,600	98	212,500	75	162,000	31,200

1)不通率=(停電に起因した不通回線数又は電線等被害による不通回線数+津波全壊による不通回線数)/全回線数

2)復旧対象回線数は、津波浸水により建物全壊した需要家に相当する回線数を除く

3)数値は、十の位または百の位で処理しており、合計や率が合わない場合がある

回線数	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後		津波全壊相当回線数
	不通率(%)	不通回線数	不通率(%)	不通回線数	不通率(%)	不通回線数	不通率(%)	不通回線数	
215,800	98	212,500	75	162,000	34	73,300	14	31,200	31,200

1)不通率(直後・1日後)=(停電に起因した不通回線数又は電線等被害による不通回線数+津波全壊による不通回線数)/全回線数

2)不通率(1週間後・1ヶ月後)=(電線等被害による不通回線数+津波全壊による不通回線数)/全回線数

3)数値は、十の位または百の位で処理しており、率が合わない場合がある

② 携帯電話

東日本大震災では、発災直後は基地局等の倒壊・流失などによる停波基地局が相当数発生し、1日後には、バッテリーや自家発電機の燃料等の枯渇により停波する基地局がさらに増加した。その後、電力の復旧や各事業者の迅速な復旧作業により、1ヶ月半程度で、一部のエリアを除き、復旧がされたところである。
本県においても、南海トラフ巨大地震が発生すると、通信インフラ等の被災や輻輳の発生、各事業者による通信規制により、発災直後から非常に繋がりにくい状況となることが想定される。

(5) ガス

① 都市ガス(冬18時)

復旧対象 需要家数	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後	
	供給 停止率(%)	供給 停止戸数	供給 停止率(%)	供給 停止戸数	供給 停止率(%)	供給 停止戸数	供給 停止率(%)	供給 停止戸数
5,400	100	5,400	100	5,400	63	3,400	0	0

1)供給停止率=管路被害・安全措置等による供給停止戸数/復旧対象需要家数

2)復旧対象需要家数は、地震動や津波浸水等により建物全壊・半壊した需要家数を除く

3)数値は、十の位または百の位で処理しており、率が合わない場合がある

② LPガス

「東日本大震災を踏まえた今後のLPガス安定供給の在り方に関する調査 報告書」によれば、LPガス基地が津波浸水等の様々な要因により、10箇所が出荷停止を余儀なくされた。それに対しては、代替基地からの振替出荷、国家備蓄からの放出等の対策が講じられたが、卸売・小売の段階でも、タンクローリーの不足、充填所・販売店の被災、燃料不足、人手不足等の様々な復旧作業の支障となる事象が発生した。

被災三県におけるLPガスの復旧状況については、大規模な余震が発生し、都度点検を実施して供給を再開しなければならない状況が繰り返されたが、3月11日に発生した大震災に対する復旧は概ね4月上旬、全体の復旧は4月21日(当面復旧可能な世帯に対して)である。発災当日はガスボンベ等の安全装置によって、自動的にほぼ全ての世帯において、供給が一旦止まったとみられ、その後順次点検を実施しながら供給が再開された。

本県においても、南海トラフ巨大地震が発生すると、発災直後においては、ガスボンベ等の安全装置により、自動的にほぼ全ての世帯において、供給が一旦停止し、その後、順次点検を実施したところから供給が開始されるが、大きな揺れと津波によるLPガス基地・充填所等の被災、輸送力不足、点検作業を実施する事業者の被災などから、すべての復旧対象世帯において供給が開始されるには1ヶ月程度を要すると想定される。

2. 交通施設被害の結果

(1) 道路施設

道路種別	津波浸水域		津波浸水域外		総延長 (km)	被害 箇所数
	延長 (km)	被害 箇所数	延長 (km)	被害 箇所数		
全路線	3,250	690	11,760	940	15,020	1,600
うち高速道路・直轄国道	80	60	300	50	390	110
うち補助国道・県道・市町村道	3,170	630	11,470	880	14,630	1,500
うち緊急輸送道路	180	70	950	100	1,130	170

1) 数値は、十の位または百の位で処理しており、合計が合わない場合がある

(2) 鉄道施設

鉄道区分	路線名称	津波浸水域		津波浸水域外		路線延長 (km)	被害 箇所数
		延長 (km)	被害 箇所数	延長 (km)	被害 箇所数		
四国旅客鉄道 (JR四国)	高德線	6	10	19	50	25	60
	鳴門線	8	20	0	0	8	20
	牟岐線	38	70	42	120	79	190
	徳島線	2	※	66	160	67	170
	土讃線	-	-	41	90	41	90
	計	54	110	168	420	222	530
阿佐海岸鉄道	阿佐東線	3	※	4	10	8	20
全体		57	110	172	430	229	550

1) 「-」の路線は、浸水の影響はない

2) ※は、若干数を表す

3) 数値は、一の位または十の位で処理しており、合計が合わない場合がある

(3) 港湾

① 岸壁・その他係留施設

港湾種別	岸壁			その他係留施設		
	総 ハース数	耐震 ハース数	被害 ハース数	総 ハース数	耐震 ハース数	被害 ハース数
重要港湾	54	3	40	99	0	80
地方港湾	22	0	20	108	1	80
全体	76	3	60	207	1	160

1) 被害ハース数は、十の位で処理しており、合計が合わない場合がある

② 防波堤

港湾種別	防波堤延長(m)	被災延長(m)
重要港湾	5,510	1,700
地方港湾	7,760	4,300
全体	13,280	6,000

1) 数値は、十の位または百の位で処理しており、合計が合わない場合がある

3. 生活支障等の結果

(1) 避難者(冬18時)

市町村名	人口	警報解除後当日			1週間後			1ヶ月後		
		避難所生活者数	避難所外生活者数	避難者数合計	避難所生活者数	避難所外生活者数	避難者数合計	避難所生活者数	避難所外生活者数	避難者数合計
徳島市	264,548	93,300	48,600	141,900	99,300	53,600	152,800	44,100	102,900	146,900
鳴門市	61,513	20,000	10,100	30,200	21,500	10,600	32,100	9,400	21,800	31,200
小松島市	40,614	18,800	9,400	28,200	19,800	9,700	29,500	8,700	20,300	29,100
阿南市	76,063	25,900	14,000	39,900	28,100	16,800	44,900	13,000	30,300	43,300
吉野川市	44,020	3,900	2,600	6,500	6,100	6,100	12,300	3,100	7,300	10,400
阿波市	39,247	3,000	2,000	5,100	4,700	4,700	9,500	2,300	5,500	7,800
美馬市	32,484	2,100	1,400	3,500	3,400	3,400	6,900	1,600	3,700	5,300
三好市	29,951	910	610	1,500	1,500	1,500	3,000	670	1,600	2,200
勝浦町	5,765	720	480	1,200	950	950	1,900	500	1,200	1,700
上勝町	1,783	230	150	380	240	240	470	130	300	430
佐那河内村	2,588	100	70	170	180	180	360	80	180	260
石井町	25,954	3,700	2,400	6,100	4,700	4,700	9,300	2,500	5,900	8,500
神山町	6,038	320	220	540	370	370	750	160	380	540
那賀町	9,318	1,200	800	2,000	1,200	1,200	2,500	670	1,600	2,200
牟岐町	4,826	2,000	1,000	3,000	2,100	1,100	3,100	930	2,200	3,100
美波町	7,765	3,000	1,600	4,600	3,100	1,700	4,900	1,400	3,400	4,800
海陽町	10,446	3,600	2,000	5,600	3,800	2,400	6,200	1,800	4,200	6,000
松茂町	15,070	4,900	2,400	7,300	5,500	2,500	8,000	2,300	5,400	7,700
北島町	21,658	6,500	3,200	9,700	7,900	3,400	11,300	3,200	7,500	10,700
藍住町	33,338	4,700	2,900	7,600	6,200	5,100	11,400	3,000	7,000	10,000
板野町	14,241	1,700	1,100	2,800	2,300	2,300	4,600	1,200	2,900	4,100
上板町	12,727	920	610	1,500	1,600	1,600	3,200	800	1,900	2,700
つるぎ町	10,490	320	210	530	640	640	1,300	270	620	890
東みよし町	15,044	500	330	830	1,300	1,300	2,500	540	1,200	1,800
合計	785,491	202,200	108,400	310,600	226,500	136,100	362,600	102,500	239,200	341,700

1)数値は、十の位または百の位で処理しており、合計が合わない場合がある

【参考】津波一時避難者数(冬深夜)

市町村名	人口	一時避難者
徳島市	264,548	185,100
鳴門市	61,513	50,000
小松島市	40,614	33,400
阿南市	76,063	40,600
吉野川市	44,020	0
阿波市	39,247	0
美馬市	32,484	0
三好市	29,951	0
勝浦町	5,765	0
上勝町	1,783	0
佐那河内村	2,588	0
石井町	25,954	0
神山町	6,038	0
那賀町	9,318	0
牟岐町	4,826	2,900
美波町	7,765	3,300
海陽町	10,446	3,400
松茂町	15,070	13,600
北島町	21,658	21,200
藍住町	33,338	6,100
板野町	14,241	0
上板町	12,727	0
つるぎ町	10,490	0
東みよし町	15,044	0
合計	785,491	359,800

1)数値は、十の位または百の位で処理しており、合計が合わない場合がある

(2) 帰宅困難者

市町村名	帰宅困難者数	
徳島市	15,500	~ 22,300
鳴門市	2,800	~ 3,800
小松島市	1,000	~ 2,300
阿南市	6,000	~ 6,100
吉野川市	2,200	~ 2,400
阿波市	1,400	~ 1,900
美馬市	1,400	~ 1,800
三好市	1,500	~ 1,500
勝浦町	280	~ 400
上勝町	80	~ 130
佐那河内村	30	~ 50
石井町	780	~ 1,300
神山町	190	~ 370
那賀町	330	~ 580
牟岐町	140	~ 190
美波町	370	~ 610
海陽町	180	~ 200
松茂町	670	~ 1,200
北島町	500	~ 1,100
藍住町	860	~ 1,400
板野町	860	~ 1,000
上板町	570	~ 620
つるぎ町	600	~ 620
東みよし町	440	~ 450
合計	40,600	~ 50,400

1)数値は、十の位または百の位で処理しており、合計が合わない場合がある

(3) 医療機能(冬18時)

市町村名	入院需要			
	重傷者数	死者の 1割	要転院 患者数	合計
徳島市	1,900	900	920	3,700
鳴門市	220	220	140	590
小松島市	480	360	270	1,100
阿南市	820	410	190	1,400
吉野川市	150	10	200	360
阿波市	120	※	40	160
美馬市	90	※	30	120
三好市	40	※	60	100
勝浦町	30	※	20	50
上勝町	10	※	0	20
佐那河内村	※	※	0	※
石井町	140	10	20	160
神山町	20	※	0	20
那賀町	60	※	10	80
牟岐町	80	80	30	190
美波町	150	120	20	300
海陽町	170	130	10	310
松茂町	30	160	※	200
北島町	70	30	40	140
藍住町	100	10	※	120
板野町	60	※	90	150
上板町	30	※	0	30
つるぎ町	10	※	20	30
東みよし町	20	※	※	30
合計	4,700	2,500	2,100	9,300

1)数値は、十の位または百の位で処理しており、合計や率が合わない場合がある

2)※は、若干数を表す

(4) 災害廃棄物等(冬18時)

市町村名	重量換算(万トン)			体積換算(万m3)		
	災害廃棄物	津波堆積物	計	災害廃棄物	津波堆積物	計
徳島市	442	158 ~ 336	600 ~ 778	679	144 ~ 230	823 ~ 909
鳴門市	123	97 ~ 276	220 ~ 399	215	88 ~ 141	303 ~ 356
小松島市	114	79 ~ 168	193 ~ 282	188	72 ~ 115	260 ~ 303
阿南市	137	124 ~ 263	261 ~ 400	233	113 ~ 180	346 ~ 413
吉野川市	16	0 ~ 0	16 ~ 16	28	0 ~ 0	28 ~ 28
阿波市	12	0 ~ 0	12 ~ 12	22	0 ~ 0	22 ~ 22
美馬市	8	0 ~ 0	8 ~ 8	15	0 ~ 0	15 ~ 15
三好市	3	0 ~ 0	3 ~ 3	5	0 ~ 0	5 ~ 5
勝浦町	3	0 ~ 0	3 ~ 3	6	0 ~ 0	6 ~ 6
上勝町	1	0 ~ 0	1 ~ 1	2	0 ~ 0	2 ~ 2
佐那河内村	※	0 ~ 0	※ ~ ※	1	0 ~ 0	1 ~ 1
石井町	18	0 ~ 0	18 ~ 18	32	0 ~ 0	32 ~ 32
神山町	1	0 ~ 0	1 ~ 1	2	0 ~ 0	2 ~ 2
那賀町	5	0 ~ 0	5 ~ 5	9	0 ~ 0	9 ~ 9
牟岐町	19	7 ~ 16	26 ~ 35	33	7 ~ 11	40 ~ 44
美波町	26	15 ~ 33	41 ~ 59	44	14 ~ 22	58 ~ 66
海陽町	30	14 ~ 29	44 ~ 59	52	13 ~ 20	65 ~ 72
松茂町	29	31 ~ 67	60 ~ 96	49	29 ~ 46	78 ~ 95
北島町	29	22 ~ 47	51 ~ 76	50	20 ~ 32	70 ~ 82
藍住町	15	6 ~ 12	21 ~ 27	25	5 ~ 8	30 ~ 33
板野町	7	0 ~ 0	7 ~ 7	12	0 ~ 0	12 ~ 12
上板町	4	0 ~ 0	4 ~ 4	7	0 ~ 0	7 ~ 7
つるぎ町	1	0 ~ 0	1 ~ 1	1	0 ~ 0	1 ~ 1
東みよし町	1	0 ~ 0	1 ~ 1	2	0 ~ 0	2 ~ 2
合計	1,000	550 ~ 1,200	1,600 ~ 2,200	1,700	500 ~ 810	2,200 ~ 2,500

1)数値は、一の位、十の位または百の位で処理しており、合計が合わない場合がある

2)※は、若干数を表す

(5) 住機能(冬18時)

市町村名	全戸数	必要応急仮設住宅戸数
徳島市	111,600	34,400
鳴門市	23,000	6,400
小松島市	15,200	6,200
阿南市	26,900	8,100
吉野川市	15,800	1,300
阿波市	13,200	930
美馬市	11,700	700
三好市	12,000	330
勝浦町	1,900	210
上勝町	760	90
佐那河内村	830	30
石井町	8,900	1,200
神山町	2,300	110
那賀町	3,700	420
牟岐町	2,100	840
美波町	3,100	1,200
海陽町	4,500	1,500
松茂町	5,600	1,800
北島町	8,300	2,000
藍住町	12,100	1,500
板野町	4,900	510
上板町	4,200	290
つるぎ町	4,300	120
東みよし町	5,300	150
合計	302,100	70,200

1)数値は、十の位または百の位で処理しており、合計が合わない場合がある

(6) エレベータ閉じこめ

市町村名	エレベータ数	閉じこめ可能性のある台数			
		安全装置 作動	揺れによる 故障	停電	合計
徳島市	1,600	※	140	300	440
鳴門市	220	※	20	40	60
小松島市	80	※	※	20	20
阿南市	210	※	20	40	60
吉野川市	80	※	※	20	20
阿波市	40	※	※	※	10
美馬市	70	※	※	10	20
三好市	100	※	※	20	20
勝浦町	※	※	※	※	※
上勝町	※	※	※	※	※
佐那河内村	※	※	※	※	※
石井町	50	※	※	10	10
神山町	※	※	※	※	※
那賀町	20	※	※	※	※
牟岐町	※	※	※	※	※
美波町	20	※	※	※	※
海陽町	10	※	※	※	※
松茂町	70	※	※	10	20
北島町	60	※	※	10	20
藍住町	100	※	※	20	30
板野町	20	※	※	※	※
上板町	20	※	※	※	※
つるぎ町	20	※	※	※	※
東みよし町	20	※	※	※	※
合計	2,900	※	240	540	780

1)数値は、十の位または百の位で処理しており、合計が合わない場合がある

2)※は、若干数を表す

(7) 災害時要援護者(冬18時)

市町村名	避難所 生活者数 (1週間後)	避難所生活者のうちの災害時要援護者数							
		65歳以上 高齢単身者	5歳未満 乳幼児	身体障害者	知的障害者	要介護認定者 (要支援者除く)	難病患者	妊産婦	外国人
徳島市	99,300	4,100	3,800	4,000	790	3,600	700	880	430
鳴門市	21,500	840	750	970	170	840	190	160	120
小松島市	19,800	800	790	960	190	710	140	140	80
阿南市	28,100	940	1,100	1,400	260	1,200	180	180	110
吉野川市	6,100	250	200	350	60	280	50	30	40
阿波市	4,700	160	150	270	50	220	40	30	40
美馬市	3,400	160	110	260	40	140	30	20	30
三好市	1,500	110	40	120	20	100	10	※	※
勝浦町	950	40	20	70	※	50	※	※	※
上勝町	240	20	※	30	※	20	※	※	※
佐那河内村	180	※	※	10	※	※	※	※	※
石井町	4,700	140	190	230	40	180	40	40	20
神山町	370	30	※	30	※	20	※	※	※
那賀町	1,200	90	30	100	10	80	※	※	※
牟岐町	2,100	160	50	130	20	130	20	※	20
美波町	3,100	210	70	230	40	210	20	10	20
海陽町	3,800	270	90	250	40	220	30	20	60
松茂町	5,500	120	260	210	50	130	40	60	20
北島町	7,900	200	390	310	60	220	60	90	40
藍住町	6,200	130	330	230	50	170	50	60	30
板野町	2,300	80	80	110	20	70	20	10	20
上板町	1,600	50	60	80	20	60	10	10	10
つるぎ町	640	60	10	60	10	40	※	※	※
東みよし町	1,300	50	50	80	10	50	10	10	※
合計	226,500	9,000	8,700	10,400	2,000	8,700	1,700	1,800	1,100

1)属性間の重複あり

2)避難所生活者数は冬18時、1週間後の値

3)数値は、十の位または百の位で処理しており、合計が合わない場合がある

4)※は、若干数を表す

(8) 文化財

全施設数	要因別被害想定結果		
	津波浸水	揺れ	火災
17	2	9	0

1)要因間での重複あり

(9) 孤立集落

市町村名	孤立可能性 のある集落数	孤立集落数		
		農村	漁村	合計
徳島市	2	1	0	1
鳴門市	17	4	10	14
小松島市	0	0	0	0
阿南市	7	4	3	7
吉野川市	46	5	0	5
阿波市	16	1	0	1
美馬市	116	5	0	5
三好市	56	7	0	7
勝浦町	2	2	0	2
上勝町	27	26	0	26
佐那河内村	20	7	0	7
石井町	0	0	0	0
神山町	4	0	0	0
那賀町	35	25	0	25
牟岐町	1	0	1	1
美波町	21	14	7	21
海陽町	21	16	2	18
松茂町	0	0	0	0
北島町	0	0	0	0
藍住町	0	0	0	0
板野町	0	0	0	0
上板町	1	0	0	0
つるぎ町	58	0	0	0
東みよし町	15	0	0	0
合計	465	117	23	140

4. 直接経済被害の結果

種別	被害額(億円)
建物	42,100
家庭用品	6,900
償却資産	6,200
棚卸資産	3,100
上水道	110
下水道	290
電力	90
通信	390
道路	430
鉄道	130
港湾	1,300
その他土木施設	870
災害廃棄物	2,300
合計	64,000

※数値は、十の位、百の位または千の位で処理しており、合計が合わない場合がある